

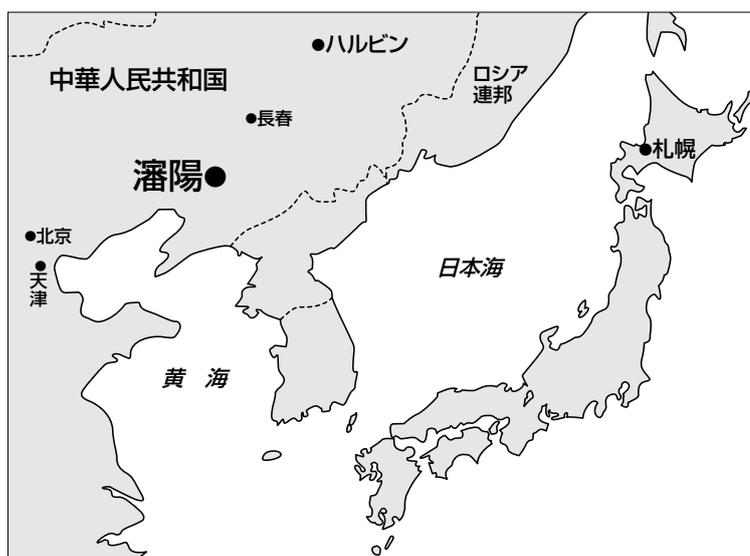
瀋陽市の概要

Summary

地 理

瀋陽市は中国東北地方の南部、遼寧省の中部に位置する。土地は主に平原で、平地が総面積の76.2%を占める。周囲には輝山・天桂山、運河・遼河・北沙河・新開河・南運河などがある。

- 北 緯 41° 11' 51" ~ 43° 2' 13"
- 東 経 122° 25' 9" ~ 123° 48' 24"
- 面 積 1.3万km²
 - ・森 林 147,013km²
 - ・牧草地 82,420km²
- 平均高度 海拔50m
- 最 高 点 447.2m
- 最 低 点 5.3m



気 候

瀋陽は北温帯に属し、季節風の影響を受けるモンスーン型大陸性気候である。四季の区別がはっきりしており、1月が最も寒く、7月が最も暑い。4月から10月にかけて最も良い季節である。

- 平均気温 9.4℃
- 最高気温記録 36.3℃
- 最低気温記録 -31.3℃
- 平均降水量 633.4mm

人 口

- 総人口 924.3万人 (戸籍人口764.4万人)
 - 男 (戸籍人口) 372.5万人 (48.99%)
 - 女 (戸籍人口) 391.9万人 (51.27%)
- 出生率 5.45%
- 死亡率 8.87%
- 札幌市人口 1,967,361人 (2025年9月1日現在)

経 済

- 市内総生産（GDP）9027.1億元（前年比5.2%増）
 - 1人当たりGDP 97,871元（前年比4.6%増）
- うち第一次産業 329.3億元
第二次産業 3167.5億元
第三次産業 5530.3億元

歴 史

瀋陽は遼寧省の省会（省都）で、渾河（瀋水とも呼ばれる）の北に位置する。中国の古代の習慣では、水の北側を「陽」と言い、瀋陽という名称はこれに由来する。

瀋陽は、長い歴史をもつ古都である。7200年以上も前に、人類の祖先はこの地で暮らしていた。

【周 代】（紀元前約11世紀以前）

営州に属する

【戦国時代】（紀元前475～221年）

遼東郡に属する

【西漢時代】（紀元前206～紀元24年）

侯城と呼ばれる

【遼 代】（960～1127年）

瀋州を置く

【金 代】（1127～1279年）

瀋陽の名称が用いられる

【元 代】（1271～1368年）

瀋陽路と改められる

【1625年】

清の太祖ヌルハチが遼陽から瀋陽へ都を移す

【1634年】

清の太宗ホンタイジが瀋陽を盛京と改め、清王朝の都とする

【1644年】

北京に遷都し、盛京を陪都とする。清朝が中国を統一する

【1657年】

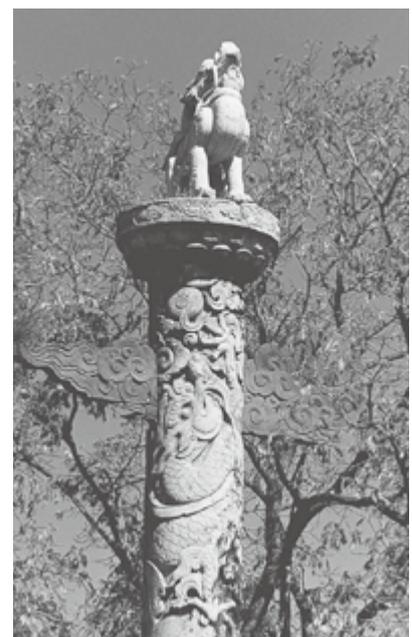
盛京に奉天府を設置する

【1945年】

瀋陽の名称が回復する

【1948年11月2日】

瀋陽が解放される



昭陵の華表

産業と貿易

瀋陽は中国有数の重工業都市で、設備製造業を主とする幅広い業種が揃っている。

また、大農業都市でもあり、54.63万 km^2 の耕作地を持ち、野菜や小麦、米などが生産されている。さらに東北地域の物流の拠点で、さまざまな商品や農作物が瀋陽から東北三省や東北アジア全体に輸送されている。

2024年、瀋陽市のGDPは9027.1億元で、前年に比べると5.2%の増、一般公共予算収入が825.6億元で、4.0%の増、社会消費品小売総額が4372.6億元で、3.9%の増となった。



瀋陽市内のビル群



方圓ビル

瀋陽の発展を牽引する開発区

★瀋陽経済技術開発区

1988年に設立され、1993年4月に、国家級経済技術開発区に格上げされた。面積は444 km^2 に達している。東北工業基地振興モデル区と装備製造業産業集中区でもある。

現在、区内に、工作機械、電気、現代建築、自動車及び部品、医薬工業などの産業が発達している。日本、ドイツ、フランスをはじめ、40以上の国と地域の企業が進出している。

★瀋陽ハイテク産業開発区

1988年に設立され、1991年に、国家級ハイテク産業開発区に格上げされた。

開発区には、東北大学をはじめとする12の高等教育機関、28の市級以上の科学研究機関、そして86の科学技術インキュベーションプラットフォームがあり、これまでに5,300社以上の企業を輩出しています。

★棋盤山リゾート開発区

瀋陽市の東北にある棋盤山リゾート開発区は開発総面積203 km^2 、その内森林面積は97 km^2 ある。区内には、森林公園、アウトレットショッピングモール、高級ホテルなどが整備されている。この素晴らしい自然環境を活かした観光産業を育成し、観光、コンベンション、文化を一体化した国際的なリゾート地の造成を進めている。

★瀋陽金融商業貿易開発区

1992年に設立され、瀋陽市街地商業地域の中心地区にある。開発区は、金融業、貿易業、サービス業のエリアから構成され、瀋陽のこれら産業の中心となっているだけでなく、中国東北地方の金融業の中心となっている。

行政区分

和平区、瀋河区、大東区、鉄西区、皇姑区、渾南区、蘇家屯区、瀋北新区、于洪区、遼中区の10区と新民市の1市、康平県、法庫県の2県がある。和平区と渾南区は政府機関が集中した地区で、瀋河区は商業、文教、住居地区で発展のスピードが速い地域である。大東区は比較的新しい工業地域で、皇姑区は大学等の集まる文教地区、鉄西区は古くからの工業地域で、近年は再開発がすすめられている。瀋陽の3分の2の企業がこの鉄西区に集中している。

区・市・県の下には112の行政街、53の鎮、16の郷がある。



交通

●航路

1998年には瀋陽－新千歳線が新設された（現在休航中）
瀋陽桃仙国際空港は、市中心部から18km（高速道路で結ばれている）。

2024年、瀋陽は国際線で21都市、国内線で100都市との間に航路を開設し、航空路線は合計222路線に達した。年間の民間航空機の発着回数は16.0万回、空港の旅客輸送量は2,374.4万人に上った。

・定期便

国内 100都市 201路線

国外 21都市 21路線

●道路

瀋陽から北京、大連、海口、吉林などへ通じる7本の高速道路が使用されている。現在、瀋陽市内の環状線高速道路も使用され、全国でも珍しい高速道路網を形成している。

●鉄路

瀋陽は中国東北地方の鉄道の拠点である。幹線と支線と合わせて全国 各地に通じている。瀋陽駅、瀋陽北駅、瀋陽南駅が瀋陽の主要な鉄道駅 であり、そのほかには皇姑屯駅、蘇家屯駅などがある。瀋陽駅は東北地区で最大規模の旅客鉄道駅です。



瀋陽市内



瀋陽駅

友好都市（国名、締結年）

- 川崎（日本、1981年）
- デュッセルドルフ（ドイツ、1984年）
- トリノ（イタリア、1985年）
- シカゴ（アメリカ、1985年）
- イルクーツク（ロシア、1992年）
- ケソン（フィリピン、1993年）
- モンテレー（メキシコ、1993年）
- ラマトガン（イスラエル、1993年）
- 城南（韓国、1998年）
- アウンデ（カメルーン、1998年）
- サイサルオニキ（ギリシャ、2005年）
- カトウイツエ（ポーランド、2007年）
- ノボシビルスク（ロシア、2013年）
- テジョン（韓国、2013年）
- ラプラタ（アルゼンチン、2014年）
- インチョン（韓国、2014年）
- ベルファスト（北アイルランド、2016年）
- フロリダ（ウルグアイ、2017年）
- ブラガ（ポルトガル、2020年）
- ジンジャ（ウガンダ共和国、2020年）
- カラチ（パキスタン、2021年）

教育制度

●中国の教育制度

小学校と初級中学（日本の中学校にあたる）の9年が義務教育である。9月から新学期が始まり、二学期制をとる。

●瀋陽市内の学校数、児童生徒数（2024年末）

・小学校	285校	46.7万人
・普通中学	320校	32.8万人
・中等専門学校	29校	4.3万人
・専門高校	47校	2.7万人
・技工学校	34校	2.1万人
・大学・学院	45校	55.2万人

各種施設

- 博物館 26館
- 図書館 20館
- 映画館 45館
- 文化センター 15館
- ラジオテレビ局 1局
- 医療衛生機関 6,200カ所（病床数79,560床）
- 体育施設（体育館 7、スポーツ公園 4）

日本総領事館

瀋陽市和平区十四緯路50号（郵便番号110003）

TEL +86-24-2322-7490（代表）／FAX +86-24-2322-2394

都市施設

2024年末時点の都市バス運行路線は328路線、運行路線の総延長は5,488.4km、バス運行車両数は4,593台で、年間の公共交通機関総輸送人員は5.1億人に達した。地下鉄運行路線は6路線、ネットワーク運行キロ数は182.1km、駅数は136駅で、年間の運行キロ数は2,087.5万列km、輸送人員は6.5億人だった。

2024年に新たに公園を3か所整備し、公園の改造・レベルアップを5か所で行い、高品質なポケットパークを316か所造成した。市街地建成区の緑地面積は23,453.5㊦、建成区の緑化被覆率は42.7%、建成区の緑地率は40.8%。



瀋陽南駅

暮らし

●瀋陽には京劇・評劇・話劇・雑技・歌舞・寄席演芸などのプロの芸術文化団体やアマチュアの演技団体が複数ある。

映画、読書、コンサートは無論、ここ数年、舞台劇、新劇などの芸術文化も人気になり、瀋陽の人々は多彩な芸術文化を日常的に楽しむことができる。2024年に文化イベントを11,926回開催し、延べ136万人の市民が参加した。また、無料文化講座や実技指導教室を6,858回実施し、無料公演を1,569回開催した。

●2024年定期的にスポーツ・運動に参加している人の割合は55.1%で、一人当たりのスポーツ施設面積は2.73㎡。2024年にはマラソン大会、サッカー大会など大型スポーツイベントを30回、市民スポーツイベントを1,360回実施した。



主な行事・催事

- 棋盤山氷雪祭り 12月下旬～2月
- 灯節遊園会 1月～2月
- 瀋陽チャイナドレス文化祭 5月～9月
- 瀋陽国際ボートオープンチャンピオンシップ 5月～9月
- 瀋陽国際ビール祭り 7月～8月
- 「和平杯」国際青少年サッカー大会 8月
- 瀋陽マラソン大会 8月～9月



瀋陽国際ボートオープンチャンピオンシップ

瀋陽市のみどころ

故宮

市内中央部に位置し、中街という繁華街に隣接している。現存するものでは清代最古の宮殿建築であり、北京の故宮に次ぐ規模を持つ。1625年から10年余りの歳月を費やして建築された宮殿は、清の太祖（初代皇帝）ヌルハチと二代目皇帝の皇太極（ホンタイジ）が使用した。6万㎡の敷地内に70余りの建物が並び、部屋数は300室以上になる。漢民族に同化される前の満州族の風格が感じられる。



福陵公園

瀋陽の東郊に位置し、別名東陵という。清の太祖ヌルハチ夫妻の陵墓である。福陵の後ろには天柱山が控え、前には渾河が流れる。



昭陵公園

瀋陽市区内では最も広い公園。別名北陵といい、清の二代目皇帝皇太極（ホンタイジ）夫妻の陵墓である。参道の両側には馬やラクダの石彫が並んでいる。湖や木々に囲まれた緑豊かな公園である。



遼寧電視塔

市内を流れる南運河の南岸にそびえるテレビ塔。1984年に建てられた。高さが305.5mあり、地上187mから215.4mの間が6階建てになっている。そこには展望台をはじめ回転ラウンジ、ゲームセンターなどが設けられ、市内を一望することができる。



商店街

1 中街

瀋陽の歴史の長い商業地域で、約1000mの長さの道路の両側に飲食店、服飾店、娯楽施設などが100あまりも集中し、貿易、飲食、娯楽、休養、観光が一体となった商業地区である。



2 太原街

賑やかな商店街。近くには中興－瀋陽商業大廈、万達デパート、百勝デパート、瀋陽工芸美術サービス部、新華書店などがある。ここ数年、太原街の地下街も繁華街に発展してきた。

3 南湖古文化市場

南湖公園の近くに位置する骨董市である。芸術品から楽しいおもちゃまでさまざまな骨董品が並び、外国の観光客に人気がある。

瀋陽の名物料理

老 辺 餃 子

老辺餃子は長い歴史を持つ瀋陽で最も有名な料理である。老辺餃子館は、1829年の創業で、1983年からは省市の名産品に選ばれ、中国商業部の食品「金鼎獎」も受賞した。老辺餃子の特徴は、皮が薄くて具が多く、コクがあるがしつこくなく、口当たりが良いこと。蒸す、揚げる、煮る、焼くなど調理方法はいろいろあり、具の種類もエビ、きゅうり、きくらげ、生餃などバラエティーに富んでいる。その中でも一番人気は「御龍鍋煮小餃」、青いアルコールランプの炎が古色蒼然とした御龍鍋を浮き立たせ、小さなかわいいギョーザがひらひらと舞う様子は、まるで龍が水の中で遊んでいるようで、目も楽しませてくれる。老辺餃子の人気の秘密は、四季の変化や好みに合わせた具にあり、見た目にも美しく、しなかやで歯ごたえのあるギョーザは珍品の名に恥じないものである。



馬 焼 売

200年ほど前、イスラム教徒の馬春さんが瀋陽で開業。当時は店舗がなく、手押し車を押して繁華街で、シューマイを売り歩いていた。二代目の馬広元さんが小さい粗末な店を構えて「馬焼売館」となり、五代目の馬継庭さんが技術指導をしている。馬焼売は材料をよく吟味して丁寧に作られており、味にも見た目にも気を配っている。牡丹のつぼみのような形をしたシューマイは、皮はつややかで、歯ごたえがあり、具の牛肉も香ばしくジューシーである。



瀋 陽 鶏 架

「瀋陽鶏架（シェンヤン・ジージア）」は、鶏の骨格（鶏ガラ）を主原料とした瀋陽のご当地グルメ。瀋陽は中国最大の鶏ガラ消費都市として知られ、「鶏ガラの都」とも呼ばれている。調理法は和え物、焼き物、煮込み、揚げ物、薫製など十数種類にも及ぶ。

